

令和5年度 特別国体関東ブロック大会 水球競技【戦評】

会場：埼玉県大宮公園水泳場

【2023/8/3】

1回戦

群馬県 16

3	—	1
4	—	2
4	—	2
5	—	0

5 栃木県

審判:

木下 晃次
原 汐音

この試合のプレー集計

群馬県	37	SH数	16	栃木県
	7	速攻数	1	
	26	ST・SB	9	
	15	SH・P誘発アシスト	3	
	60%	GK阻止率	41%	
1	EX反則数	4		

ST・SB:ボール奪取・SH阻止

【試合の流れ】

1P

栃木ディフェンスがゴール前を固め、群馬の攻撃を防ぐ展開となった。そうした展開で先制したのは栃木。群馬のパスをGK①鈴木がインターセプトし、そこからチャンスをつかんだ栃木が⑦岩田のミドルシュートが決まった(3:54)。その後も栃木のディフェンスが機能したが、群馬は⑦齋藤が左サイドから思い切りのいいシュートを決めて同点に持ち込むと(2:14)、徐々に群馬のペースが上がってきた。機動力、ゲーム感覚のいい群馬1年⑦齋藤が動き、②丹羽のボールスチールからのチャンスを今度は右サイドの角度のない位置から決めて逆転(1:48)。さらに栃木ディフェンスが甘くなったところで、群馬センター⑥前田が決めて(0:59)、群馬3-1栃木で第1ピリオド終了。

2P

ピリオド開始後の群馬の攻撃でセンター⑥前田がペナルティを誘発し、④齋藤が決めて群馬が4点目をマークすると得点の応酬となった。このピリオドは群馬センター⑥前田が2得点、④齋藤がペナルティを含めて2得点と攻撃力を見せつけた。対する栃木もタイムアウトからセンター⑥三村が決めるという、お互いにセンター攻撃が機能する展開となった。なお、群馬6-2栃木となった5:10でタイマー機器の電源不良によって試合が一時中断。約10分間の再調整を経て、再開するというアクシデントがあった。群馬7-2栃木で前半を折り返した。

3P

群馬がセンター⑥前田がペナルティを誘発し、④齋藤が決めてこのピリオドも群馬が優勢に。しかし栃木がここから粘りを発揮し、⑤青木の退水誘発プレーから③朝倉が決め、さらにセンター⑥三村が連続得点して点差を詰めた。しかし、このあたりで栃木の集中力が切れはじめ、再開後の④齋藤、⑦齋藤のトップ位置シュートを決められ、このピリオド最後はこの試合最初のカウンター攻撃失点を喫し、栃木はかなり苦しい状況に追い込まれて第3ピリオド終了(群馬11-4栃木)。

4P

劣勢となった栃木は群馬の攻撃に戻る体力が失われ、かつ、攻撃にまで力が残っておらず、一方的な展開となった。余裕の出た群馬は交代選手をつぎ込み、このピリオド5得点で試合終了。群馬16-4栃木で、群馬がAブロック1位決定(対東京都)へ進出し、栃木がAブロック3位決定(対山梨県)に回るようになった。